

「科学技術振興機構のプログラム 調整室新設と役割」

小 間 篤

(科学技術振興機構 研究主監)

プログラム調整室の設置の経緯

- ◆ 競争的資金の重複の問題
- ◆ 年度間繰越の問題
- ◆ 競争的資金の途切れの問題
- ◆ 会計制度上の制約の問題
 - ー 高額設備購入に関わる研究費の合算使用
 - ー 院生旅費
 - ー 外国の研究者との会合費
 - ー 「秋葉原」での現金買いetc.

研究室の実態をよく知った人による判断が必要

プログラム調整室の設置に関する達

(平成18年10月1日設置)

● (目的及び設置)

- 第1条 基礎研究における研究の実施及び研究費の執行について調査・調整し、もって研究成果の最大効率化に資するため、組織規程(平成15年規程第2号)第29条の規定に基づき、戦略的創造事業本部にプログラム調整室を置く。

JSTの戦略的創造研究推進プログラム

- ◆ ERATO 3 億円／年 20 課題
- ◆ CREST 1 億円／年 250 課題
- ◆ さきがけ
- ◆ ICORP
- ◆ SORST(発展研究)

実際の活動内容

- ◆ **書面調査**（選考時及び各年次報告時）
正しく記載されている事を前提としているので、不実記載に対しては厳正な処置を執る。
- ◆ 書面調査の結果、必要に応じて**訪問調査**を行う。
- ◆ 書面・訪問調査の結果、研究費の増減を含む必要な勧告を、機構の戦略事業本部長に対して行う。
- ◆ プログラム調整室の業務は、**監査ないし不正摘発**を目的としたものではない。

書面調査

- ◆ 研究者の負担が多くなならないよう調査項目を精選
- ◆ 費目別（備品費、消耗品、人件費、旅費、その他）の研究費計画、購入予定の主要設備
- ◆ **他制度での助成状況**（前年度、当該年度、次年度）
- ◆ 研究代表者と同じ研究実施場所における人員構成（教職員、博士研究員、大学院生）
- ◆ プログラム調整室による書面調査結果を研究総括に提供し、面接選考に資する予定。

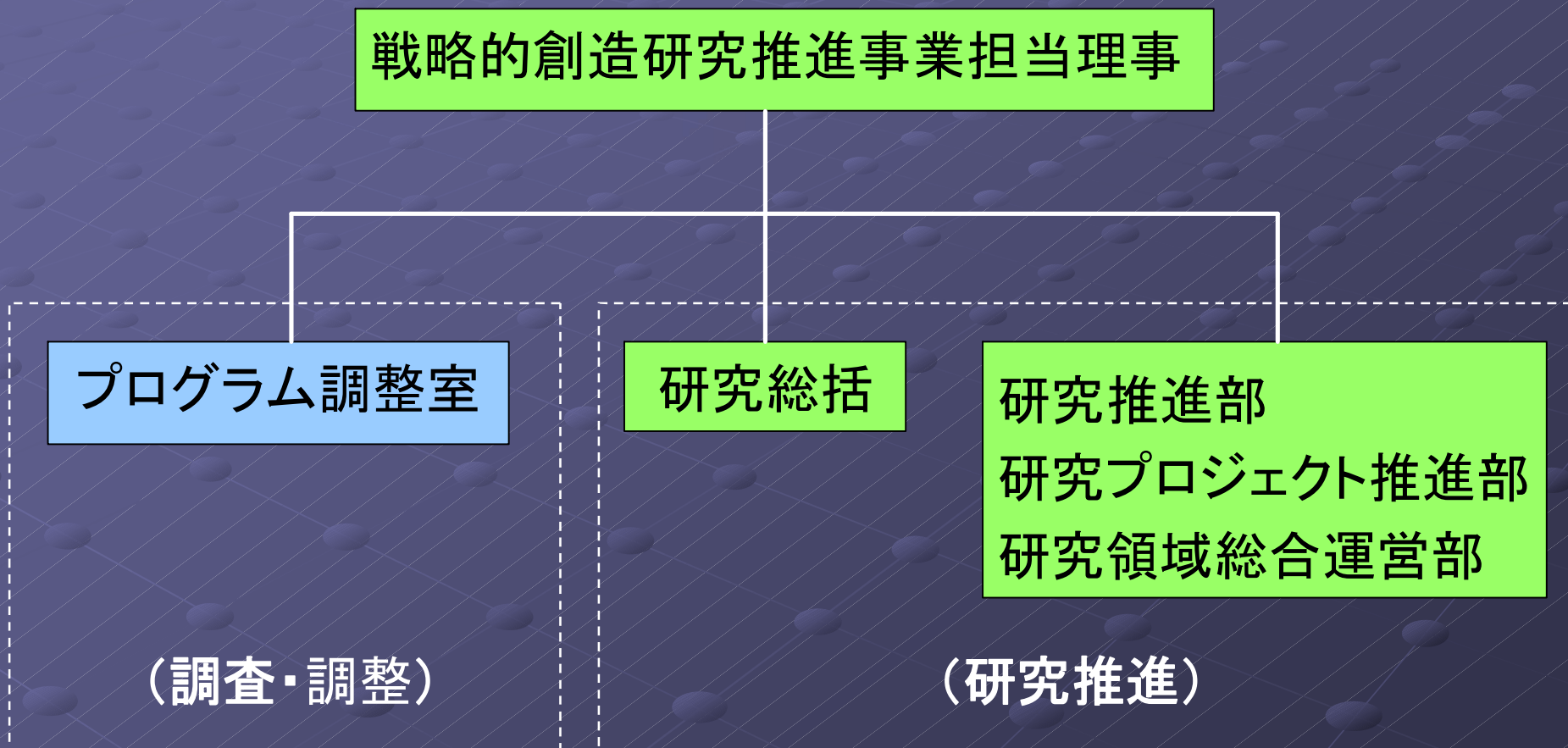
訪問調査

- ◆ 特筆すべき研究成果(学術上の貢献並びにイノベーションへの寄与)
- ◆ 他制度の助成金の受領状況及び仕分け
- ◆ 研究室見学
 - ー 主要設備の利用状況
 - ー 研究経費に見合う人員体制になっているか
- ◆ 研究費の使い勝手に関する注文、改善提案

プログラム調整室の体制

- 室長 小間 篤(JST戦略創造事業研究主監
元東京大学副学長)
- プログラムオフィサー
 - 入江 正浩(立教大学教授 九州大学名誉教授)
 - 帯刀 益夫(東北大学名誉教授)
 - 白木 靖寛(武蔵工業大学教授・総合研究所所長
東京大学名誉教授)
 - 本河 光博(JST先端計測分析技術・機器開発事業
開発総括 東北大学名誉教授)

プログラム調整室の位置づけ



今後の課題

- ◆ 他機関との連携
 - ー 情報の共有
 - ー 設備備品購入に関わる合算使用の可否
- ◆ できるだけ柔軟な制度運用(限られた資金の有効活用)
- ◆ 制度上の問題点の解決に向けた努力(年度をまたいだ研究費の使用など)
- ◆ 中間評価結果、終了評価結果の活用

研究期間設定と予算執行形態 (研究期間3年、全予算300単位を仮定)

◆ 多くの競争的資金の場合



◆ JSTの場合

